

第44回通常総会開催される

山本理事長、収益をあげ、待遇改善を

来賓の湯崎広島県知事はファブの技術に期待感

当組合は、来賓として湯崎英彦・広島県知事をお迎えして、第44回通常総会を5月26日午後4時よりホテルニューヒロデン2階春日の間において開催いたしました。県知事がファブの総会に来賓出席されるのは全国でも珍しく、広島県では初めて。

定刻に至り、永谷仁成副理事長の司会で、境谷正昭副理事長が開会を宣し、加藤善文事務局長が本人出席及び委任状出席により定足数を満たし、総会が有効に成立したと報告しました。

続いて、山本泰徳理事長が挨拶されました。山本泰徳理事長は、湯崎広島県知事の来賓出席について「これまでファブの地位向上を目指す一環として行政との距離を縮める努力を続けてきた結果、今日、湯崎広島県知事の来賓出席が実現できました。皆さんが思われている以上に我々ファブの評価は高まっています」と説明されました。そして、元請が過去最高益を更新している状況を踏まえて、設備の更新、社員の待遇改善のためにはより収益をあげる必要があります。現在の需給環境、ファブの立場を考慮した受注価格（見積）の確保を訴えられました。特に、大手GCが6月から現場の週休2日の試行を始めるなど働き方の改善に向けて世間が動き出しています。現在の日給月給制では働く日数減は、従業員の即収入減につながります。「月給制に移行するためにも、より収益の確保が求められています。皆さんの会社は



あいさつされる山本理事長



来賓出席いただいた湯崎広島県知事

こうした社会の流れに十分対応できますし、さらに成長できる力をお持ちです」として、最後に「息子さんに鉄工所の経営を喜んで継いでもらえるよう皆さん、今後も頑張りましょう」と結ばれました。

続いて、ご臨席を賜りました湯崎英彦・広島県知事から、まず「平成27年度未完了という短期間での広島県の県有施設の耐震化では、組合員の皆様方に多大なるご貢献を頂きました」と謝辞を賜り、そして「今後の県庁舎などの耐震化におきましては、皆様方の高度な知見と経験に期待いたしております」とファブの技術に期待するお言葉を賜りました。

案審議では山本泰徳理事長が推されて議長となり、議案審議に入りました。

第1号議案 平成28年度 事業報告書及び決算関係書類承認の件

第2号議案 平成29年度 事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件

第3号議案 平成29年度 経費の賦課及び徴収方法決定の件

第4号議案 平成29年度 借入金最高限度額承認の件

第5号議案 出資口数及び出資総額変更の件

各議案を上程し、慎重審議により原案通り満場一致を持って可決承認可決し、最後に佐藤副理事長が閉会を宣しました。



【総会終了後、出席者全員で記念写真を撮影しました】

総会終了後、場所を移して永年組合活動に貢献されました光村哲也・ミツヤ工業(株)会長に対する感謝状の贈呈式が行われました。山本理事長が、光村会長が30数年にわ

たって組合理事を務められたほか、全構協中国支部長、全構協副会長として活躍された功績を称えられ、代理出席された光村暢純社長に感謝状を手渡されました。光村暢純社長は謝辞として「元請はお客さんだがその先に最終ユーザーがいることを意識していただきたい」という光村会長の言葉を代読されました。

続いて、榊中尾鉄工所の中尾建三取締役相談役が約20分にわたって講演されました。中尾取締役相談役は、鉄工所のこれまでの変遷を述べられて最後に、「今現在が第二の鉄工所の変革の時期に当たる。対応への各論は組合で審議していただくが、皆さんは、今が鉄工所の変革の時期であることを十分自覚していただきたい」と締めくくられました。



光村会長に感謝状を贈呈しました



中尾取締役相談役が講演されました